

## 透析装置用過酢酸洗浄剤

# Cure-X<sup>®</sup> II

錆化抑制タイプ<sup>®</sup>

### <特徴>

本洗浄剤は、透析装置のライン清浄化に必要な“最小限の有効成分を配合する事”をコンセプトに開発された過酢酸、過酸化水素、酢酸を含有する商品です。過酢酸の配合により、酢酸のみでの清浄化よりも抗菌力が向上します。また、強力な酸化剤である過酸化水素が汚れ成分を酸化し乖離しやすくする効果があります。さらに、酢酸が配合されていることにより炭酸カルシウムが除去できます。

過剰な成分を含まない必要最小限の成分構成であることが、排水処理などの環境負荷を和らげるとともに最大限の費用対効果が期待できます。

通常、強力な酸化剤である過酸化水素を含む液体は、金属部品に腐食等の影響を与えますが、本剤はその影響を極力抑制します。

### <組成>

- 過酢酸 ……3.4±0.2%
- 過酸化水素…5.8以下
- 酢酸 ……15.8%±0.5%
- 防錆剤

### <品質規格及び特性>

外観	酢酸臭を有する 無色透明液体
pH(20°C)	1.5±0.5
比重(20°C)	1.04 ±0.05g/ml
炭酸カルシウム溶解能 (50倍希釈液)	2.5~2.9g/ℓ

### <製品の安全性>

本品に含まれる成分は、水溶解度が高いことによる移動分散性と微生物による生分解性に優れていることから、環境中に残留しません。また、微生物による生分解を受けた後は、最終的に水と二酸化炭素に収束するため、環境に与える負荷は極めて低い性質があります。

- 経口急性毒性
  - ・ 過酢酸…ラット 1540mg/Kg
  - ・ 過酸化水素…ラット 1518mg/Kg
  - ・ 酢酸…ラット 3310mg/kg
- COD 値(50倍希釈)
  - ・ 580mg/kg
- BOD 値(50倍希釈液)
  - ・ 測定できない

### <使用方法>

対象機器の汚れ具合に応じてご使用時の希釈倍率を調整ください。

シングルパス洗浄の場合は、末端送液濃度を50~100倍に調整し、30~60分以上の送液を行ってください。封入洗浄の場合は、末端送液濃度を状況に応じて50~100倍に調整し、4時間以上の溶液接触時間を取ってください。その後、40分以上をかけて十分な水洗を行ってください。

## <防錆効果試験>

Cure-X及びCure-X・II (100倍希釈)、比較としてRO水について、鉄片を用いて、防錆効果試験を行なった。

### ◆結果

	RO水	Cure-X	Cure-X・II		RO水	Cure-X	Cure-X・II
浸漬直後				3日後			
1日後				8日後			

◆考察 Cure-XとCure-X・IIを比較して、Cure-X・IIの3日後はCure-Xの1日後に対応(上記表の赤枠)し、Cure-X・IIの8日後はCure-Xの3日後に対応(上記表の青枠)しており、錆の進行が遅いことが伺える。

## <使用上の注意>

- 使用時には必ずゴム手袋(布、天然皮革製手袋は適さない)保護メガネ、マスクなどの保護具を着用して下さい。目に入った場合は直ちに流水で数分間注意深く洗い流して下さい。コンタクトレンズの着用の場合、容易に外せるのであれば外し、その後も流水で数分間注意深く洗い流して下さい。その後、医師の診察を受けて下さい。皮膚に付着した場合は、流水で数分間注意深く洗浄して下さい。その後、医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かずに必要に応じ、大量のミルクまたは水を飲んで下さい。その後、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- RO水以外の物質との混合は行わないで下さい。特に塩素系薬剤、アルカリ性物質、ステンレス以外の金属類及び還元性物質との混合は危険を伴います。
- 本製品の使用により気分が悪くなった場合は、医師の診断または手当てを受けて下さい。希釈には、RO水を使用して下さい。

## <保管上の注意>

- 直射日光を避け、冷暗所に保管して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。

## <荷姿>

- 9kg×2/箱 1ケース
- 18kg 1ケース



### 【販売代理店】

### 【製造元】

株式会社 エー・エヌ テック

〒521-1114 滋賀県彦根市彦富町 931-5

TEL:0749-43-8017 FAX:0749-43-3021